

町長所信

(要旨)

先の臨時議会でもご承認いただきましたように、海部病院が南海トラフ地震対策として高台移転に向け作業を進めています。昨日も徳島県の9月定例議会で飯泉知事から海部病院移転改築については、牟岐町から提案のあった土地を移転用

地として決定し、県南地域の災害医療の拠点に相応しい施設整備を図るため早急に設計に着手する。そして、将来は県南地域に高度な医療を提供する拠点に、また、全国のモデルとなる新たな防災拠点を目指し、しっかりと取り組んでいるとの説明をいただいたところですので、牟岐町としては、できるだけ早く必要な諸手続きを完了し、実施設計、測量の発注等を終え、平成25年度中の建築工事の着手に向け

造成工事の発注に掛かりたいと考えています。まずは周辺の皆さんに事業概要を説明するとともに、関係者の方々にも具体的な説明に入りたいと考えています。8月より営業休止している牟岐町健康管理センターの今後の運営方針ですが、去る9月3日に同検討委員会から答申をいただきました。答申は町民の方々に対するアンケート調査結果も踏まえ、民間に譲渡して温泉施設を残す方策を最善の選択として今後の在り方を決定すべし、とのものとした。今後、この答申による方針を最善のものとして具体的な在り方を模索していきたいと考えています。

ここ数年、毎年のように漁獲高は減少し、耕作面積も減少しています。このまま推移すれば、また、高齢化も考慮すると、早晚、農林漁業は壊滅的な状況になると思います。やはり都市部から離れた町村は、一次産業をベースにした観光振興を図るべきだと思います。美しい農村

風景や漁村風景、これを中心とした交流人口の増加を図るべきだと思います。美しい町並みは人間の日々の営みから生まれるものだと思います。田舎には田舎の良さを懸命に作っていただく必要があります。従って、この一次産業の活性化と関連する美しい景観の創造に積極的に取り組んでいきたいです。

九月定例議会の

議案の内容と審議

定例議会が9月19日から21日まで開かれました。

開会日には福井町長が、県立海部病院の高台移転と健康管理センターの今後の方針について説明を行い、健全化判断比率等の報告、決算認定、条例改正案、補正予算案、人事案件などを提案説明し、議員から意見書案2件の趣旨説明を行いました。

再開日には4名の議員が一般質問に立ち、南海トラフ地震の備え、豪雨対策、要援護者対策、イベントへの取り組みなどについて論議されました。

そして、23年度各会計決算認定7件を常任委員会に付託し、町長提出の報告1件を承認、補正予算など議案10件と議員提出の意見書2件が可決されました。



飯泉知事に海部病院移転用地を提案